



## 「抱きしめたい笑顔」

厳しい寒さが去り、日中の日差しはすっかり春の気配です。幼稚園の園庭を歩いていると、どこからともなくジンチョウゲの花の香りが漂ってきます。プランターの中のパンジーやキンギョソウがどんどんと花を付け出しました。スマホばかり見ている現代人には、春が訪れるこの時期は、眠っていた感覚を呼び起こして、五感で春の気配を精一杯吸い込み、心のバランスを取り戻したいものです。

世界は醜い戦争や争いごとに満ちていますが、こんな春の美しさや、子どもたちの喜びや自信に満ちた笑顔を見ていると、本当に救われる思いがします。

今日も、三歳児のあるクラスで保育を見ていますと、子どもたちがシャボン玉液に粉絵具で色をつけて、シャボン玉を作る遊びをしていました。先生は色の付いたシャボン液で画用紙に色を付ける遊びを想定していたのですが、さすがに木の実の子たちは、実験精神旺盛で、粉絵具を何色も入れて不思議な色を作る子、シャボン液をたっぷり入れてみたい子、画用紙の上についた色の上から別の色のシャボン玉をぶくぶくさせながら泡をいっぱい乗せる子、画用紙の上の色シャボン玉をスプーンでかき混ぜ、延ばして遊ぶ子、実に様々。そしてどの子も本当に夢中になっています。そして何より、その「やった」という思いの溢れた笑顔の素晴らしい事、愛らしい事!!

どうなるかわからないけど、ワクワクして試してみる事の面白さ、それを全身で楽しむ子どもたちは本当に素晴らしい。一学期のとまどいと不安の中にあっただちを思い返すと、これこそ成長、育ちの姿ですね。

よくお話しする子、よく先生のお話を聞ける子も素晴らしい事ですが、たとえお話が少し苦手でも、失敗して泣いてしまう子であっても、様々な遊びや活動の中で経験したさまざまな事がつながって、ちゃんと子どもたちは力を付けていると確信しています。

大人にとって無駄と思う事、困ったという事があっても、子どもはちゃんと良い事を見て、面白さを感じて、世の中の不思議を考えています。その力がある瞬間、ぐっと現れて笑顔が溢れる、それをしっかり抱きしめたいと思います。子どもたちの伸びる力を信じ、決して潰すことのないように、これからもみんなで見守っていきましょう。

園長～今川 公平



現在、新年度に向けてクラス編成作業を進めておりますが、地域、男女比、月齢など複数の教員で協議を重ね、検討しております。保護者の方からの個人的要望や希望は一切お受けできません。「～ちゃんと同じクラスに」といった要望はお断りしておりますので、ご理解の程、宜しくお願い致します。